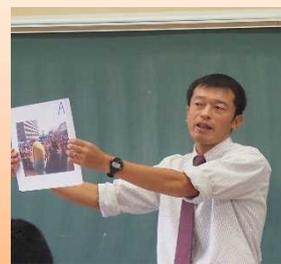


国語科 公開授業・授業研究会

授業者 藤岡市立北中学校 庄山 武 教諭
平成26年10月21日(火) 第3学年



第3学年のプレゼンテーションの構成と資料について考える学習を公開しました！



県内各地からの参加者により、提案された手立て等について、議論が行われ、今後の授業改善に向けて多くのヒントが出されました。

【単元】 3年『藤岡市を元気にするプロジェクトを提案しよう！！』
～構成の工夫や資料を活用した説得力のある発表を通して～

【本時のねらい】

プレゼンテーションの構成を考える活動を通して、
資料の活用の仕方に気づき、自分の発表に取り入れさせる。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・ 話や文章を構成するパターンの知識（頭括型・双括型・尾括型）
- ・ 論理的に話を構成する力
- ・ 資料を収集・引用する力

【提案する手立て】

①構成を比較する活動

（指導プランP77「1 生徒が学習に主体的に取り組むために」）

（指導プランP9「提示資料を適切に選んだり、資料を提示するタイミングを工夫したりする。」）

②学びを深めるための活動

（指導プランP77「3 意見や考えを深めさせるために」）



授業の様子

1. 本時の学習課題を確認する



本単元を通して意識させていることを確認しました。

相手
藤岡市の職員

目指すもの
説得力のある
プレゼン

【学習課題】

プレゼンテーション資料の順番を考え、説得力のあるストーリー（構成）を考えよう。

2. 説得力のあるストーリー（構成）を考える

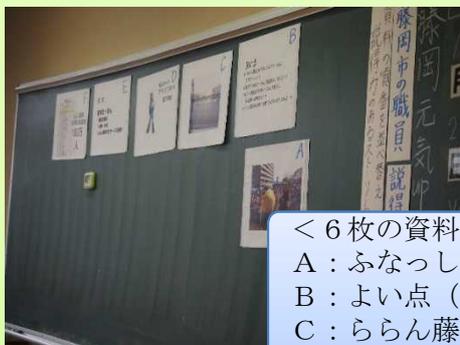
教師の用意した資料を並べ替え、説得力のあるストーリーを考えさせた。

ゆるキャラグランプリで「まゆだーまんの順位（人気）を上げる」ための提案

(手立て①)
《指導プランp.77》
《指導プランp.9》



説得力のあるプレゼンにするために、みんななら、6枚の資料をどの順にしますか。



< 6枚の資料 >
A : ふなっしーの写真
B : よい点（根拠）
C : ららん藤岡の写真
D : まゆだーまんの写真
E : 提案
F : 「道の駅」ランキング

①個人で6枚の資料を並べ替え、ストーリー（構成）を考える



②グループで話し合い、グループの構成案を作成する



資料を持ちながら、個人で考えた構成とその理由を一人ずつ説明しました。



(手立て②)
《指導プランp.77》

グループとしての案を検討しました。

③グループの構成案を掲示する

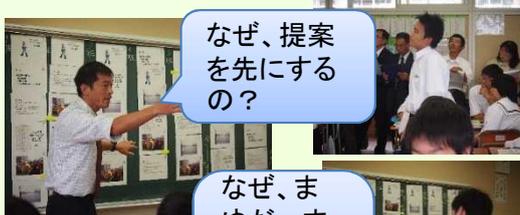


グループによる構成例

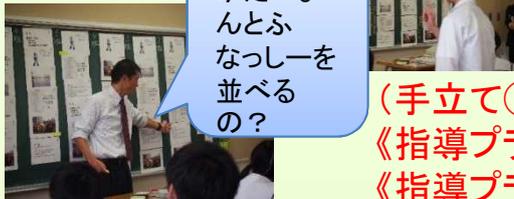
- D→C→F→E→B→A
- D→F→B→E→C→A
- E→D→C→F→A→B

授業の様子

④各グループで考えた構成を比較しながら、構成した理由を説明し、意見交流する



なぜ、提案を先にするのか？



なぜ、まゆだーまんとふなっしーを並べるのか？

(手立て①)
《指導プランp.77》
《指導プランp.9》

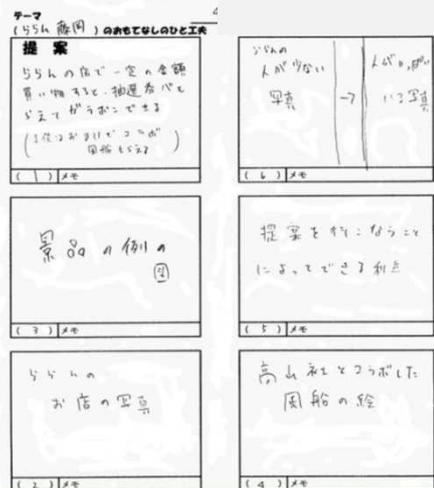
発表された構成について、なぜそう考えたのか、その構成にはどんなよさがあるのかを問い掛け、考えを深めていきました。

3. 並べ替えで気付いたことを自分のプレゼンテーションに生かす

並べ替えの学習を参考に、各自の提案するプレゼンテーションの構成と必要な資料について考えました。

展開元元UPプロジェクト ワークシート1

説得力のあるプレゼンテーションをしよう！



なぜ、こういう構成にしたのか？



この構成のよさは何？

4. 本時の学習を振り返り、まとめる

並べ替えをして分かったことをプリントに記入する

＜生徒の振り返り例＞
提案したいことをまず示したい。次に根拠となることを写真や図、グラフなどを活用しながら説明すると分かりやすいプレゼンテーションになる。



【授業研究会での意見】

＜よかった点＞

- ・モデルを使った学習を通して、プレゼンテーションの流れと必要な資料についてしっかりと考えることができていた。
- ・生徒の興味を引く内容で、多様な意見を引き出すことに結び付いていた。
- ・キーワードを中心にした板書で、生徒は具体的なイメージをもちやすかった。

＜改善点＞

- ・本時のねらいを絞ることで、生徒に考えさせることをより明確にし、生徒の思考を深めたい。
- ・「構成のよさやポイント」、「共通点と相違点」などの視点を与えた後、各グループからの発表をさせることで、再度グループで検討する時間等を確保したい。



【参加者の声】

- ・何を身に付けさせたいかをはっきりさせる大切さ、難しさを学ぶことができました。それには、絞り込みが必要だと思えます。授業研究会に参加させていただき意見を聞いたり、発言したりすることで、自分がぼんやりと感じていたことがどんなことであったのかよりはっきりさせることができましたように思います。
- ・同一の素材を生徒に与えることで、たくさんの意見や考えが出ることを実感しました。生徒の目的意識や意欲を高めるために、必然性のある課題を設定するという「実の場」という考え方が魅力的です。
- ・学習指導案の教材観、特に③「単元を貫く言語活動の特徴と必要な指導」は、大変参考になりました。子どもたちが真剣に学ぶ姿がすばらしかったです。

【授業者の感想】

参加者の皆さんからのご質問やご意見をいただいたことで、自分の単元構想や授業構想の中で曖昧であった点を明らかにすることができました。

検討を加え、今後の授業づくりや実践に生かしたいと思えます。

